

協議事項29

令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等の状況について

令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等の状況について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和3年10月27日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長 長谷川 達也

令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等の状況について〈概要版〉

※括弧内は令和元年度の数値

1. 暴力行為について

(1) 暴力行為の発生件数

	神戸市の 発生件数 (件)	1,000人あたりの発生件数 (件)			
		神戸市	全国	兵庫県	指定都市
小学校	447 (483)	6.0 (6.4)	6.5 (6.8)	3.3(4.1)	—
中学校	468 (498)	13.8(14.6)	6.9 (9.1)	6.6(7.3)	—
高等学校	12 (14)	2.0 (2.3)	1.3 (2.1)	1.7(2.3)	—
合計	927 (995)	8.1 (8.6)	5.6 (6.5)	3.8(4.6)	7.5 (8.7)

(2) 暴力行為の内訳で最も多いもの

項目	神戸市	全国	兵庫県	指定都市
生徒間暴力	81.7% (83.1%)	71.5% (70.7%)	74.4% (75.2%)	74.2% (72.0%)

(3) 今後の対応等

- ・対教師暴力、生徒間暴力、対人暴力等、暴力行為全体の発生件数は減少しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、児童生徒が不安やストレスを抱えていることを踏まえ、教職員が一体となり、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関とも連携しながら、問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に係る多面的な支援を行う。
- ・教育委員会は、学校における事案発生を迅速に認知し、必要に応じて学校法務専門官とも連携しより一層、各学校への支援を充実していく。

2. いじめについて

(1) いじめの認知件数

	神戸市の 認知件数 (件)	1,000人あたりの認知件数 (件)			
		神戸市	全国	兵庫県	指定都市
小学校	4,203 (4,870)	56.4 (64.7)	67.1 (76.4)	53.6 (57.0)	—
中学校	1,253 (1,956)	36.9 (57.4)	26.5 (34.5)	33.2 (44.0)	—
高等学校	34 (36)	5.7 (5.9)	4.9 (6.3)	4.5 (6.3)	—
特別支援学校	5 (4)	4.3 (3.6)	15.6 (21.4)	24.5 (25.6)	—
合計	5,495 (6,866)	47.6 (58.9)	44.6 (51.7)	38.7 (43.4)	46.7 (53.4)

(2) いじめの解消状況

項目	神戸市	全国	兵庫県	指定都市
いじめが解消している	63.8% (79.3%)	77.4% (83.2%)	67.5% (80.0%)	80.7% (86.0%)

(3) いじめの発見のきっかけ

項目	神戸市	全国	兵庫県	指定都市
教職員が発見	30.8% (29.4%)	12.0% (13.1%)	16.8% (17.1%)	12.8% (13.6%)
当該児童生徒 (本人) の保護者からの訴え	26.0% (30.2%)	10.1% (10.2%)	18.8% (20.3%)	12.8% (13.6%)
本人からの訴え	20.9% (26.1%)	17.5% (17.4%)	21.5% (22.4%)	18.6% (18.5%)
アンケート調査など 学校の取組により発見	10.8% (2.9%)	55.6% (54.5%)	34.3% (31.8%)	50.8% (49.1%)

※「教職員が発見」は「学級担任」「学級担任以外の教職員」「養護教諭」「スクールカウンセラー等の外部の相談員」を合わせた数値

(4) いじめの態様

項目	神戸市	全国	兵庫県
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる	44.5% (47.1%)	58.8% (61.9%)	54.2% (57.5%)
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	22.4% (25.9%)	22.1% (21.6%)	22.3% (22.1%)

(5) いじめる児童生徒への特別な対応

項目	神戸市	全国	兵庫県
保護者への報告	79.3% (87.2%)	47.4% (47.1%)	72.5% (78.4%)
いじめられた児童生徒やその保護者に対する謝罪の指導	54.8% (55.8%)	47.0% (46.9%)	59.0% (60.4%)

(6) いじめられた児童生徒への特別な対応

項目	神戸市	全国	兵庫県
学級担任や他の教職員等による家庭訪問の実施	70.0% (79.5%)	10.5% (9.4%)	36.8% (42.5%)

(7) いじめの日常的な実態把握

項目	神戸市	全国	兵庫県
アンケート調査の実施	100% (98.5%)	99.6% (99.8%)	99.5% (99.3%)
家庭訪問	73.8% (85.2%)	43.6% (62.4%)	64.6% (78.0%)

(8) 今後の対応等

- ・「神戸市いじめ対応のための実施プログラム（令和2年9月策定）」に基づき、本市統一様式でのアンケート調査を実施した。いじめに該当する行為を具体的に示し、児童生徒が回答しやすくした結果、アンケートによるいじめ発見の割合が約4倍に高まっている。
- ・いじめが疑われる事案を認知した際は、担任等の特定の教員が一人で抱え込むことなく、いじめに係る校内組織で情報を共有し、保護者とも連携しながら、学校全体として見守りを継続するなど、組織的な対応について、教育委員会としても引き続き学校への指導助言、啓発に努めていく。

3. 長期欠席（不登校等）について

(1) 長期欠席の状況（人）

	市の児童生徒数	病気	経済的理由	不登校	新型コロナウイルスの感染回避	その他	長欠計
小学校	74,459 (75,289)	221 (286)	0 (0)	843 (650)	71 (新設項目)	97 (99)	1,232 (1,035)
中学校	33,934 (34,082)	312 (278)	0 (0)	1,891 (1,740)	44 (新設項目)	27 (57)	2,274 (2,075)
高等学校	5,944 (6,101)	42 (53)	0 (0)	91 (122)	17 (新設項目)	1 (0)	151 (175)
合計	114,337 (115,472)	575 (617)	0 (0)	2,825 (2,512)	132 (新設項目)	125 (156)	3,657 (3,285)

※本調査から「新型コロナウイルスの感染回避」が新設され、新型コロナウイルスの感染を回避するため、本人又は保護者の意思で出席しない者等を計上。

(2) 全児童生徒に占める不登校児童生徒数の割合

	神戸市	全国	兵庫県
小学校	1.13% (0.86%)	1.01% (0.84%)	1.01% (0.65%)
中学校	5.57% (5.11%)	4.30% (4.12%)	4.91% (4.30%)
合計	2.52% (2.19%)	2.07% (1.90%)	2.25% (1.80%)

(3) 今後の対応等

- ・青少年育成センター及び市内7か所に設置された分室(くすのき教室)において、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援の充実を図る。
- ・不登校担当コーディネーターを中心に、フリースクールなどの民間施設等との連携を推進することで、不登校児童生徒への支援の充実を図っていく。
- ・児童生徒にとって安全、安心で登校意欲の向上につながる取組の実践「魅力あるよりよい学校づくり」を推進する。

令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等の状況について

1 暴力行為の発生件数

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		指定都市		神戸市(公立)		R元年度 神戸市(公立)	
	発生件数 (件)	1000人 あたり (件)	発生件数 (件)	1000人 あたり (件)	発生件数 (件)	1000人 あたり (件)	発生件数 (件)	1000人 あたり (件)	発生件数 (件)	1000人 あたり (件)
小学校	40,292	6.5	922	3.3			447	6.0	483	6.4
中学校	20,509	6.9	861	6.6			468	13.8	498	14.6
高等学校	2,790	1.3	173	1.7			12	2.0	14	2.3
全体	63,591	5.6	1,956	3.8	15,114	7.5	927	8.1	995	8.6

2 暴力行為の内訳

(1)全体

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		指定都市		神戸市(公立)		R元年度 神戸市(公立)	
	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比
対教師暴力	8,521	13.4%	238	12.2%	1,785	11.8%	81	8.7%	90	9.0%
生徒間暴力	45,446	71.5%	1,456	74.4%	11,209	74.2%	757	81.7%	827	83.1%
対人暴力	1,015	1.6%	16	0.8%	245	1.6%	3	0.3%	11	1.1%
器物損壊	8,609	13.5%	246	12.6%	1,875	12.4%	86	9.3%	67	6.7%
計	63,591		1,956		15,114		927		995	

(2)小学校

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		神戸市(公立)		R元年度 神戸市(公立)	
	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比
対教師暴力	5,890	14.6%	141	15.3%	42	9.4%	36	7.5%
生徒間暴力	29,881	74.2%	677	73.4%	376	84.1%	420	87.0%
対人暴力	531	1.3%	2	0.2%	1	0.2%	2	0.4%
器物損壊	3,990	9.9%	102	11.1%	28	6.3%	25	5.2%
計	40,292		922		447		483	

(3)中学校

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		神戸市(公立)		R元年度 神戸市(公立)	
	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比
対教師暴力	2,421	11.8%	90	10.5%	38	8.1%	52	10.4%
生徒間暴力	13,874	67.6%	664	77.1%	373	79.7%	401	80.5%
対人暴力	398	1.9%	6	0.7%	1	0.2%	6	1.2%
器物損壊	3,816	18.6%	101	11.7%	56	12.0%	39	7.8%
計	20,509		861		468		498	

(4)高等学校

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		神戸市(公立)		R元年度 神戸市(公立)	
	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比	発生件数 (件)	形態別 構成比
対教師暴力	210	7.5%	7	4.0%	1	8.3%	2	14.3%
生徒間暴力	1,691	60.6%	115	66.5%	8	66.7%	6	42.9%
対人暴力	86	3.1%	8	4.6%	1	8.3%	3	21.4%
器物損壊	803	28.8%	43	24.9%	2	16.7%	3	21.4%
計	2,790		173		12		14	

3 いじめの認知件数

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		指定都市		神戸市(公立)		R元年度神戸市(公立)	
	認知件数 (件)	1000人あたり (件)	認知件数 (件)	1000人あたり (件)	認知件数 (件)	1000人あたり (件)	認知件数 (件)	1000人あたり (件)	認知件数 (件)	1000人あたり (件)
小学校	416,861	67.1	15,049	53.6			4,203	56.4	4,870	64.7
中学校	78,537	26.5	4,347	33.2			1,253	36.9	1,956	57.3
高等学校	10,238	4.9	443	4.5			34	5.7	36	5.9
特別支援学校	2,203	15.6	141	24.5			5	4.3	4	3.5
全 体	507,839	44.6	19,980	38.7	94,935	46.7	5,495	47.6	6,866	58.9

4 いじめの解消状況

神戸市(公立)

区 分	(1)解消しているもの		(2)解消に向けて取組み中				その他		計	R元年度 (1)解消しているもの	
			認知後3か月以上経過		認知後3か月未満						
	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	件数	認知件数に 対する割合
小学校	2,589	61.6%	524	12.5%	1,087	25.9%	3	0.1%	4,203	3,848	79.0%
中学校	891	71.1%	138	11.0%	224	17.9%	0	0.0%	1,253	1,564	80.0%
高等学校	23	67.6%	3	8.8%	8	23.5%	0	0.0%	34	29	80.6%
特別支援学校	2	40.0%	2	40.0%	1	20.0%	0	0.0%	5	3	75.0%
全 体	3,505	63.8%	667	12.1%	1,320	24.0%	3	0.1%	5,495	5,444	79.3%

※「その他」とは、いじめの問題による就学校の指定変更、公立から市立、市立から公立などの転学や退学等、(1)(2)に該当しないもの。

指定都市(公立)

区 分	(1)解消しているもの		(2)解消に向けて取組み中				その他		計
			認知後3か月以上経過		認知後3か月未満				
	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数
全 体	76,651	80.7%	6,684	7.0%	11,522	12.1%	78	0.1%	94,935

※「その他」とは、いじめの問題による就学校の指定変更、公立から市立、市立から公立などの転学や退学等、(1)(2)に該当しないもの。

兵庫県(公立)

区 分	(1)解消しているもの		(2)解消に向けて取組み中				その他		計
			認知後3か月以上経過		認知後3か月未満				
	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数
小学校	9,859	65.5%	1,391	9.2%	3,796	25.2%	3	0.0%	15,049
中学校	3,168	72.9%	366	8.4%	812	18.7%	1	0.0%	4,347
高等学校	337	76.1%	55	12.4%	51	11.5%	0	0.0%	443
特別支援学校	127	90.1%	9	6.4%	5	3.5%	0	0.0%	141
全 体	13,491	67.5%	1,821	9.1%	4,664	23.3%	4	0.0%	19,980

※「その他」とは、いじめの問題による就学校の指定変更、公立から市立、市立から公立などの転学や退学等、(1)(2)に該当しないもの。

全国(公立)

区 分	(1)解消しているもの		(2)解消に向けて取組み中				その他		計
			認知後3か月以上経過		認知後3か月未満				
	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数	認知件数に 対する割合	件数
小学校	322,677	77.4%	25,490	6.1%	68,326	16.4%	368	0.1%	416,861
中学校	60,361	76.9%	6,521	8.3%	11,544	14.7%	111	0.1%	78,537
高等学校	8,119	79.3%	1,054	10.3%	925	9.0%	140	1.4%	10,238
特別支援学校	1,711	77.7%	238	10.8%	228	10.3%	26	1.2%	2,203
全 体	392,868	77.4%	33,303	6.6%	81,023	16.0%	645	0.1%	507,839

※「その他」とは、いじめの問題による就学校の指定変更、公立から市立、市立から公立などの転学や退学等、(1)(2)に該当しないもの。

5 いじめ発見のきっかけ

区 分	全国		兵庫県		指定都市		神戸市		R元年度 神戸市	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
①学級担任が発見	48,491	9.5%	2,339	11.7%	9,883	10.4%	1,187	21.6%	1,345	19.6%
②学級担任以外の教職員が発見 (養護教諭・スクールカウンセラー等の相談員を除く)	10,224	2.0%	912	4.6%	1,944	2.0%	470	8.6%	640	9.3%
③養護教諭が発見	1,551	0.3%	83	0.4%	217	0.2%	31	0.6%	30	0.4%
④スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	744	0.1%	19	0.1%	89	0.1%	3	0.1%	5	0.1%
⑤アンケート調査など学校の取組により発見	282,410	55.6%	6,852	34.3%	48,186	50.8%	594	10.8%	198	2.9%
⑥本人からの訴え	88,854	17.5%	4,291	21.5%	17,635	18.6%	1,149	20.9%	1,789	26.1%
⑦当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	51,408	10.1%	3,752	18.8%	12,161	12.8%	1,431	26.0%	2,071	30.2%
⑧児童生徒(本人を除く)からの情報	16,728	3.3%	1,194	6.0%	3,108	3.3%	402	7.3%	496	7.2%
⑨保護者(本人の保護者を除く)からの情報	6,117	1.2%	453	2.3%	1,452	1.5%	188	3.4%	238	3.5%
⑩地域の住民からの情報	326	0.1%	27	0.1%	73	0.1%	13	0.2%	16	0.2%
⑪学校以外の関係機関(相談機関を含む)からの情報	673	0.1%	50	0.3%	139	0.1%	22	0.4%	38	0.6%
⑫その他(匿名による投書など)	313	0.1%	8	0.0%	48	0.1%	5	0.1%	0	0.0%

(注)構成比は、各区分における認知件数に対する割合

6 いじめの態様 ※複数回答

区 分	全国		兵庫県		神戸市		R元年度 神戸市	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
①冷やかしたりからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる。	298,432	58.8%	10,832	54.2%	2,445	44.5%	3,232	47.1%
②仲間はずれ、集団による無視をされる。	66,183	13.0%	1,988	9.9%	411	7.5%	504	7.3%
③軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	112,416	22.1%	4,456	22.3%	1,229	22.4%	1,781	25.9%
④ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	29,083	5.7%	1,593	8.0%	646	11.8%	912	13.3%
⑤金品をたかられる。	4,940	1.0%	237	1.2%	85	1.5%	68	1.0%
⑥金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	26,138	5.1%	1,272	6.4%	403	7.3%	534	7.8%
⑦いやなことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	44,864	8.8%	2,132	10.7%	615	11.2%	863	12.6%
⑧パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	17,942	3.5%	1,010	5.1%	302	5.5%	251	3.7%
⑨その他	23,976	4.7%	629	3.1%	254	4.6%	197	2.9%

(注)構成比は、各区分における認知件数に対する割合

7 いじめる児童生徒への特別な対応 ※複数回答

区 分	全国		兵庫県		神戸市		R元年度 神戸市		
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
①スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行う。	7,672	1.5%	268	1.3%	53	1.0%	26	0.4%	
②校長、教頭が指導した。	19,941	3.9%	588	2.9%	50	0.9%	79	1.2%	
③別室指導した。	31,334	6.2%	2,295	11.5%	849	15.5%	1,177	17.1%	
④学級替えをした。	125	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
退学・転学	⑤懲戒処分としての退学	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	⑥その他	161	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦停学	189	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑧出席停止	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑨自宅学習・自宅謹慎	608	0.1%	69	0.3%	15	0.3%	6	0.1%	
⑩訓告	90	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑪保護者への報告	240,634	47.4%	14,478	72.5%	4,357	79.3%	5,986	87.2%	
⑫いじめられた児童生徒やその保護者に対する謝罪の指導	238,608	47.0%	11,779	59.0%	3,013	54.8%	3,832	55.8%	
⑬関係機関等との連携	ア 警察等の刑事司法機関等との連携	1,064	0.2%	64	0.3%	20	0.4%	17	0.2%
	イ 児童相談所等の福祉機関等との連携	770	0.2%	60	0.3%	9	0.2%	8	0.1%
	ウ 病院等の医療機関等との連携	602	0.1%	13	0.1%	3	0.1%	17	0.2%
	エ その他の専門的な関係機関との連携	1,192	0.2%	61	0.3%	2	0.0%	22	0.3%
	オ 地域の人材や団体等との連携	529	0.1%	5	0.0%	0	0.0%	19	0.3%

(注)構成比は、各区分における認知件数に対する割合

8 いじめられた児童生徒への特別な対応 ※複数回答

区 分	全国		兵庫県		神戸市		R元年度 神戸市	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
①スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行った。	13,369	2.6%	508	2.5%	53	1.0%	53	0.8%
②別室を提供したり、常時教職員が付くなどして心身の安全を確保したりした。	19,158	3.8%	739	3.7%	182	3.3%	270	3.9%
③緊急避難として欠席させた。	627	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
④学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施した。	43,574	8.6%	7,356	36.8%	3,844	70.0%	5,460	79.5%
⑤学級替えをした。	138	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥当該いじめについて、教育委員会と連携して対応した。	16,658	3.3%	1,207	6.0%	153	2.8%	89	1.3%
⑦児童相談所等の関係機関と連携して対応した。(サポートチームなども含む。)	2,176	0.4%	160	0.8%	16	0.3%	14	0.2%

(注)構成比は、各区分における認知件数に対する割合

9 学校におけるいじめの問題に対する日常の取組 ※複数回答

区 分	全国		兵庫県		神戸市		R元年度 神戸市	
	学校数	構成比	学校数	構成比	学校数	構成比	学校数	構成比
①-1職員会議等を通じて、いじめの問題について教職員間で共通理解を図った。	33,130	99.1%	1,302	99.9%	263	100.0%	262	99.6%
①-2いじめ問題に関する校内研修会を実施した。	28,616	85.6%	1,302	99.9%	263	100.0%	262	99.6%
② 道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った。	31,474	94.1%	1,220	93.6%	263	100.0%	261	99.2%
③ 児童・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、児童・生徒同上の人間関係や仲間作りを促進したりした。	27,179	81.3%	1,205	92.5%	263	100.0%	260	98.9%
④ スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して教育相談体制の充実を図った。	31,041	92.8%	1,183	90.8%	227	86.3%	203	77.2%
⑤教育相談の実施について、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った。	28,311	84.6%	912	70.0%	165	62.7%	134	51.0%
⑥ 学校いじめ防止基本方針をホームページに公表するなど、保護者や地域住民に周知し、理解を得るよう努めた。	30,541	91.3%	1,302	99.9%	263	100.0%	263	100.0%
⑦ PTAなど地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた。	14,027	41.9%	492	37.8%	96	36.5%	111	42.2%
⑧いじめの問題に対し、警察署や児童相談所など地域の関係機関と連携協力した対応を図った。	11,940	35.7%	445	34.2%	111	42.2%	80	30.4%
⑨インターネットを通じて行われるいじめの防止及び効果的な対処のための啓発活動を実施した。	28,238	84.4%	1,130	86.7%	199	75.7%	185	70.3%
⑩学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して機能しているか点検し、必要に応じて見直しを行った。	31,335	93.7%	1,302	99.9%	263	100.0%	263	100.0%
⑪学校いじめ防止基本方針に定めているとおり、いじめ防止等の対策のための組織を招集した。	32,040	95.8%	1,302	99.9%	263	100.0%	263	100.0%

(注1) いじめを認知していない学校も含まれる

(注2) 構成比は、各区分における学校総数に対する割合

10 いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に行った具体的な方法 ※複数回答

区 分	全国		兵庫県		指定都市		神戸市		R元年度 神戸市		
	学校数	構成比	学校数	構成比	件数	構成比	学校数	構成比	学校数	構成比	
(1) アンケート調査の実施	33,319	99.6%	1,296	99.5%	4,473	99.5%	263	100.0%	259	98.5%	
① 実施頻度	ア 年1回	864	2.6%	4	0.3%			0	0.0%	1	0.4%
	イ 年2~3回	19,158	57.3%	1,056	81.0%			248	94.3%	244	92.8%
	ウ 年4回以上	13,297	39.8%	236	18.1%			15	5.7%	14	5.3%
② 調査方法	ア 記名式	24,844	74.3%	1,066	81.8%			250	95.1%	231	87.8%
	イ 無記名式	9,146	27.3%	219	16.8%			10	3.8%	16	6.1%
	ウ 記名・無記名の選択式	3,668	11.0%	55	4.2%			5	1.9%	13	4.9%
③ 回答方法	ア 学校で記入	30,532	91.3%	1,138	87.3%			255	97.0%	248	94.3%
	イ 持ち帰って記入	5,388	16.1%	197	15.1%			10	3.8%	14	5.3%
(2) 個別面談の実施	28,641	85.6%	1,071	82.2%			211	80.2%	228	86.7%	
(3) 「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童生徒との間で日常的に行われている日記等	16,547	49.5%	686	52.6%			143	54.4%	155	58.9%	
(4) 家庭訪問	14,583	43.6%	842	64.6%			194	73.8%	224	85.2%	
(5) その他	1,899	5.7%	52	4.0%			11	4.2%	12	4.6%	

(注1) いじめを認知していない学校も含まれる

(注2) 構成比は、各区分における学校総数に対する割合

11 警察に相談・通報した件数

	全国			兵庫県			神戸市			R元年度 神戸市		
	相談通報 件数	認知件数に 占める割合	認知件数	相談通報 件数	認知件数に 占める割合	認知件数	相談通報 件数	認知件数に 占める割合	認知件数	相談通報 件数	認知件数に 占める割合	認知件数
小学校	331	0.1%	416,861	11	0.1%	15,049	7	0.2%	4,203	6	0.1%	4,870
中学校	498	0.6%	78,537	19	0.4%	4,347	7	0.6%	1,253	9	0.5%	1,956
高等学校	160	1.6%	10,238	8	1.8%	443	0	0.0%	34	1	2.8%	36
特別支援学校	16	0.7%	2,203	2	1.4%	141	1	20.0%	5	1	25.0%	4
全体	1,005	0.2%	507,839	40	0.2%	19,980	15	0.3%	5,495	15	0.2%	6,866

12 「地方いじめ防止基本方針」を策定した自治体(市町村)

	全国		兵庫県		指定都市		神戸市	
	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合
策定済	1,692	96.8%	40	97.6%	20	100.0%	1	100.0%

13 「いじめ問題対策連絡協議会」を設置した自治体(都道府県・指定都市)

	全国		兵庫県		指定都市		神戸市	
	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合
設置済	47	100.0%	1	100.0%	20	100.0%	1	100.0%

14 条例により、「重大事態」の調査又は再調査を行うための機関を設置した自治体(市町村)

	全国		兵庫県		指定都市		神戸市	
	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合	自治体数	割合
教育委員会の 附属機関	1,270	72.7%	35	85.4%	18	90.0%	1	100.0%
地方公共団体の 長の附属機関	1,095	62.6%	30	73.2%	17	85.0%	1	100.0%

15 長期欠席(不登校等)について

(1)神戸市の長期欠席の状況

学校種		在籍児童 生徒数	病気	経済的 理由	不登校	新型コロナウイルス の感染回避	その他	計(長欠)
小学校	R2年度	74,459	221	0	843	71	97	1,232
	R元年度	(75,289)	(286)	(0)	(650)		(99)	(1,035)
中学校	R2年度	33,934	312	0	1,891	44	27	2,274
	R元年度	(34,125)	(278)	(0)	(1,740)		(57)	(2,075)
高等学校	R2年度	5,944	42	0	91	17	1	151
	R元年度	(6,101)	(53)	(0)	(122)		(0)	(175)
合計	R2年度	114,337	575	0	2,825	132	125	3,657
	R元年度	(115,515)	(617)	(0)	(2,512)		(156)	(3,285)

1 長期欠席の定義 ※令和2年度調査より変更

長期欠席とは、「児童・生徒指導要録」の「欠席日数」欄及び「出席停止・忌引き等の日数」欄の合計の日数により、令和2年度間に30日以上登校しなかった(連続したものであるか否かを問わない)児童生徒

※ 令和2年度調査より、「出席停止・忌引き等の日数」を含むようになり、「新型コロナウイルスの感染回避」が新設。

2 長期欠席の理由

- ①「病気」:本人の心身の故障等(けがを含む)により、入院、通院、自宅療養等のため、長期欠席した者
- ②「経済的理由」:家計が苦しく教育費が出せない、児童生徒が働いて家計を助けなければならない等の理由で長期欠席した者
- ③「不登校」:何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者(ただし、「病気」「経済的理由」「新型コロナウイルスの感染回避」による者を除く)
- ④「新型コロナウイルスの感染回避」:新型コロナウイルスの感染を回避するため、本人又は保護者の意思で出席しない者、及び医療的ケア児や基礎疾患児で登校すべきではないと校長が判断した者
- ⑤「その他」:上記「病気」「経済的理由」「不登校」「新型コロナウイルスの感染回避」のいずれにも該当しない理由により長期欠席した者

3 「不登校」及び「その他」の具体例 ※令和2年度調査における調査票記載例

(1) 不登校の具体例

- ・友人関係又は教職員との関係に課題を抱えているため登校しない(できない)。
- ・遊ぶためや非行グループに入っていることのため登校しない。
- ・無気力でなんとなく登校しない。迎えに行ったり強く催促したりすると登校するが長続きしない。
- ・登校の意思はあるが身体のふ頭を訴え登校できない。漠然とした不安を訴え登校しないなど、不安を理由に登校しない(できない)。

(2) その他の具体例

- ・保護者の教育に関する考え方、登校についての無理解、家族の介護、家事手伝いなどの家庭の事情から長期欠席している者
- ・外国での長期滞在、国内・外への旅行のため、長期欠席している者
- ・連絡先が不明なまま長期欠席している者
- ・「病気」「経済的理由」「不登校」の理由により登校しなかった日数の合計が30日に満たず、学校教育法又は学校保健安全法に基づく出席停止、学年の一部の休業、忌引き等の日数を加えることによって、登校しなかった日数が30日以上となる者

(2) 不登校児童生徒数

学校種	全国(公立)		兵庫県(公立)		指定都市		神戸市(公立)		R元年度神戸市(公立)	
	人数	1000人あたり (人)	人数	1000人あたり (人)	人数	1000人あたり (人)	人数	1000人あたり (人)	人数	1000人あたり (人)
小学校	62,862	10.1	2,829	10.1	14,558	10.9	843	11.3	650	8.6
中学校	127,671	43.0	6,424	49.1	28,163	46.4	1,891	55.7	1,740	51.0

16 不登校の要因（国・県との比較） ①小学校

全国

区分	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	合計
	いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動等への不適応、部活動	学校のきまり等をめぐる問題	級入学、転編入学、進	激変な生活環境の急	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安		
①主たるもの	163	4,203	1,171	2,020	149	11	451	1,106	2,388	9,181	1,016	8,816	29,153	3,034	62,862
	0.3%	6.7%	1.9%	3.2%	0.2%	0.0%	0.7%	1.8%	3.8%	14.6%	1.6%	14.0%	46.4%	4.8%	
②主たるもの以外（2つまで選択可）	89	2,587	988	4,795	221	25	546	757	1,505	8,808	1,390	6,768	7,194		35,673

兵庫県

区分	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	合計
	いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動等への不適応、部活動	学校のきまり等をめぐる問題	級入学、転編入学、進	激変な生活環境の急	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安		
①主たるもの	13	185	65	88	17	0	24	46	119	419	56	386	1297	114	2,829
	0.5%	6.5%	2.3%	3.1%	0.6%	0.0%	0.8%	1.6%	4.2%	14.8%	2.0%	13.6%	45.8%	4.0%	
②主たるもの以外（2つまで選択可）	1	109	50	149	4	0	22	25	48	321	60	263	259		1,311

神戸市

区分	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	合計
	いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動等への不適応、部活動	学校のきまり等をめぐる問題	級入学、転編入学、進	激変な生活環境の急	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安		
①主たるもの	7	38	27	36	8	0	8	8	42	137	16	121	353	42	843
	0.8%	4.5%	3.2%	4.3%	0.9%	0.0%	0.9%	0.9%	5.0%	16.3%	1.9%	14.4%	41.9%	5.0%	
②主たるもの以外（2つまで選択可）	0	29	17	35	0	0	10	4	20	83	16	64	92		370

（注）中段は、各区分における分類別児童生徒数に対する割合。

<p><区分></p> <p>*学校に係る状況</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ・・・本調査で定義するいじめに該当するもの いじめを除く友人関係をめぐる問題・・・仲間い等 教職員との関係をめぐる問題・・・教職員の強い叱責、注意等 学業の不振・・・成績の不振、授業が分からない、試験が嫌い等 進路に係る不安・・・将来の進路希望が定まらない等 クラブ活動、部活動等への不適応・・・部活動の練習に参加したくない等 学校のきまり等をめぐる問題・・・制服を着たくない、給食を食べたくない、学校行事に参加したくない等 入学、転編入学、進級時の不適応・・・転校したくなかった、クラス替えが自分の願う学級編成ではなかった等 <p>*家庭に係る状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭の生活環境の急激な変化・・・親の単身赴任、離婚等 親子の関わり方・・・親の叱責、親の言葉・態度への反発、親の過干渉・放任等 家庭内の不和・・・両親の不和、祖父母と父母の不和等 <p>*本人に係る状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活リズムの乱れ、あそび、非行・・・就寝起床時間が定まらず昼夜逆転になる、非行グループに入り非行行為を行う等 無気力、不安・・・無気力でなんとなく登校しない。登校の意志はあるが、漠然とした不安を覚え登校しない（できない。）等 左記に該当なし・・・本人や保護者と話しても上記のような傾向が見えず、学校、家庭及び本人に係る状況に当てはまるものがない
--

16 不登校の要因（国・県との比較） ②中学校

全国

区分	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	合計
	いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	等への不適応、部活動	学校のきまり等をめぐる問題	級入学、転編入学、進	激変生活環境の急	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、非行	無気力、不安		
①主たるもの	206	16,023	1,197	8,185	1,298	736	1,039	4,994	3,167	7,822	2,334	14,126	60,598	5,946	127,671
	0.2%	12.6%	0.9%	6.4%	1.0%	0.6%	0.8%	3.9%	2.5%	6.1%	1.8%	11.1%	47.5%	4.7%	
②主たるもの以外 (2つまで選択可)	104	6,307	1,167	11,039	2,040	1,022	1,086	2,395	2,122	9,582	2,543	8,825	12,326		60,558

兵庫県

区分	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	合計
	いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	等への不適応、部活動	学校のきまり等をめぐる問題	級入学、転編入学、進	激変生活環境の急	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、非行	無気力、不安		
①主たるもの	9	870	60	598	114	54	72	248	149	383	139	756	2,791	181	6,424
	0.1%	13.5%	0.9%	9.3%	1.8%	0.8%	1.1%	3.9%	2.3%	6.0%	2.2%	11.8%	43.4%	2.8%	
②主たるもの以外 (2つまで選択可)	3	274	61	558	155	70	75	148	117	463	133	376	617		3,050

神戸市

区分	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	合計
	いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	等への不適応、部活動	学校のきまり等をめぐる問題	級入学、転編入学、進	激変生活環境の急	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、非行	無気力、不安		
①主たるもの	6	366	28	270	33	13	19	109	51	124	37	175	616	44	1,891
	0.3%	19.4%	1.5%	14.3%	1.7%	0.7%	1.0%	5.8%	2.7%	6.6%	2.0%	9.3%	32.6%	2.3%	
②主たるもの以外 (2つまで選択可)	1	76	22	184	74	27	30	68	56	177	55	94	249		1,113

(注)中段は、各区分における分類別児童生徒数に対する割合。下段は、各区分における「学校、家庭に係る要因(区分)」の「計」に対する割合。

- <区分>
- *学校に係る状況
 - ・いじめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・本調査で定義するいじめに該当するもの
 - ・いじめを除く友人関係をめぐる問題・・仲間い等
 - ・教職員との関係をめぐる問題・・・・・教職員の強い叱責、注意等
 - ・学業の不振・・・・・・・・・・・・・・・・・・成績の不振、授業が分からない、試験が嫌い等
 - ・進路に係る不安・・・・・・・・・・・・・・・・・・将来の進路希望が定まらない等
 - ・クラブ活動、部活動等への不適応・・・・・部活動の練習に参加したくない等
 - ・学校のきまり等をめぐる問題・・・・・制服を着たくない、給食を食べたくない、学校行事に参加したくない等
 - ・入学、転編入学、進級時の不適応・・・・・転校したくなかった、クラス替えが自分の願う学級編成ではなかった等
 - *家庭に係る状況
 - ・家庭の生活環境の急激な変化・・・・・親の単身赴任、離婚等
 - ・親子の関わり方・・・・・・・・・・・・・・・・・・親の叱責、親の言葉・態度への反発、親の過干渉・放任等
 - ・家庭内の不和・・・・・・・・・・・・・・・・・・両親の不和、祖父母と父母の不和等
 - *本人に係る状況
 - ・生活リズムの乱れ、あそび、非行・・・・・就寝起床時間が定まらず昼夜逆転になる、非行グループに入り非行行為を行う等
 - ・無気力、不安・・・・・・・・・・・・・・・・・・無気力でなんとなく登校しない。登校の意志はあるが、漠然とした不安を覚え登校しない(できない。)等
 - ・左記に該当なし・・・・・・・・・・・・・・・・・・本人や保護者と話しても上記のような傾向が見えず、学校、家庭及び本人に係る状況に当てはまるものがない